

1 経営比較分析表とは

「経営比較分析表」は、各公営企業（公営企業型地方独立行政法人も含む）において、経営及び施設の状況を表す経営指標を活用し、当該団体の経年比較や他公営企業との比較、複数の指標を組み合わせた分析を行ったもの。

なお、経営比較分析上の数値だけでは判断できない部分もあることから、「地域において担っている役割」の記載が設けられ、当該役割を踏まえた比較・分析が可能となるようにしている。

2 指標の解説（出典：総務省ホームページ）

経営の健全性・効率性に係る指標	算出式	指標の意味
①経常収支比率	経常収益／経常費用×100	通常の病院活動による収益状況を示す
②医業収支比率	医業収益／営業費用×100	本業（医業活動）から生じる収益割合
医業収益	入院収益＋外来収益＋ その他医業収益（室料差額収益等）＋ 運営費負担金（他会計繰入金）の うち救急医療、保健衛生行政分	※⑦、⑧の医業収益は、地独法会計に おいては営業収益が用いられている （運営費負担金が全て含まれる）
④病床利用率	年延入院患者／年延病床×100	施設が有効活用されているか
⑤入院患者1人1日あたり収益	入院収益／年延入院患者数	入院患者の診療及び療養に係る平均単価
⑥外来患者1人1日あたり収益	外来収益／年延外来患者数	外来患者の診療及び療養に係る平均単価
⑦職員給与費対医業収益※比率	職員給与費／医業収益×100	医業収益の中で職員給与費が占める割合
⑧材料費対医業収益※比率	材料費／医業収益×100	医業収益の中で材料費が占める割合
老朽化の状況に係る指標	算出式	指標の意味
①有形固定資産減価償却率	有形固定資産減価償却累計額／ 有形償却対象資産の帳簿価格×100	有形固定資産の老朽化度合
②器械備品減価償却率	器械備品減価償却累計額／ 器械備品の帳簿価格×100	器械備品の老朽化度合
③1床当たり有形固定資産	有形償却対象資産の帳簿価格／ 年度末病床数	1床当たりの有形固定資産の保有状況

3 傾向について（同種の平均より低い項目における考えられる理由）

病院	病床	同種病院	④病床利用率	⑤入院1人1日 あたり収益	⑥外来1人1日 あたり収益	施設老朽化に係る 指標
信州	320	300～399床	受診控え	室料差額が低い	検査、放射線収入が 少ない	
駒ヶ根	129	精神病院			初診、再診収入が少 ない	②③：電子カルテ更新 による資産額増
阿南	85	50～99床	整形外科医不在、 受診控え		再診収入が少ない	②③：H25に本館改 築済
木曾	199	100～199床	受診控え		初診、再診収入が少 ない	①②：建物が築30年 超
こども	200	200～299床			投薬、処置収入が少 ない	①②③：先進医療提 供のため

経常収支比率に比して医業収益比率が低いのは、運営費負担金の割合が高いため

「対医業収益比率」が低い傾向にあるのは、地独法人では営業収益を使用しているため と思料。